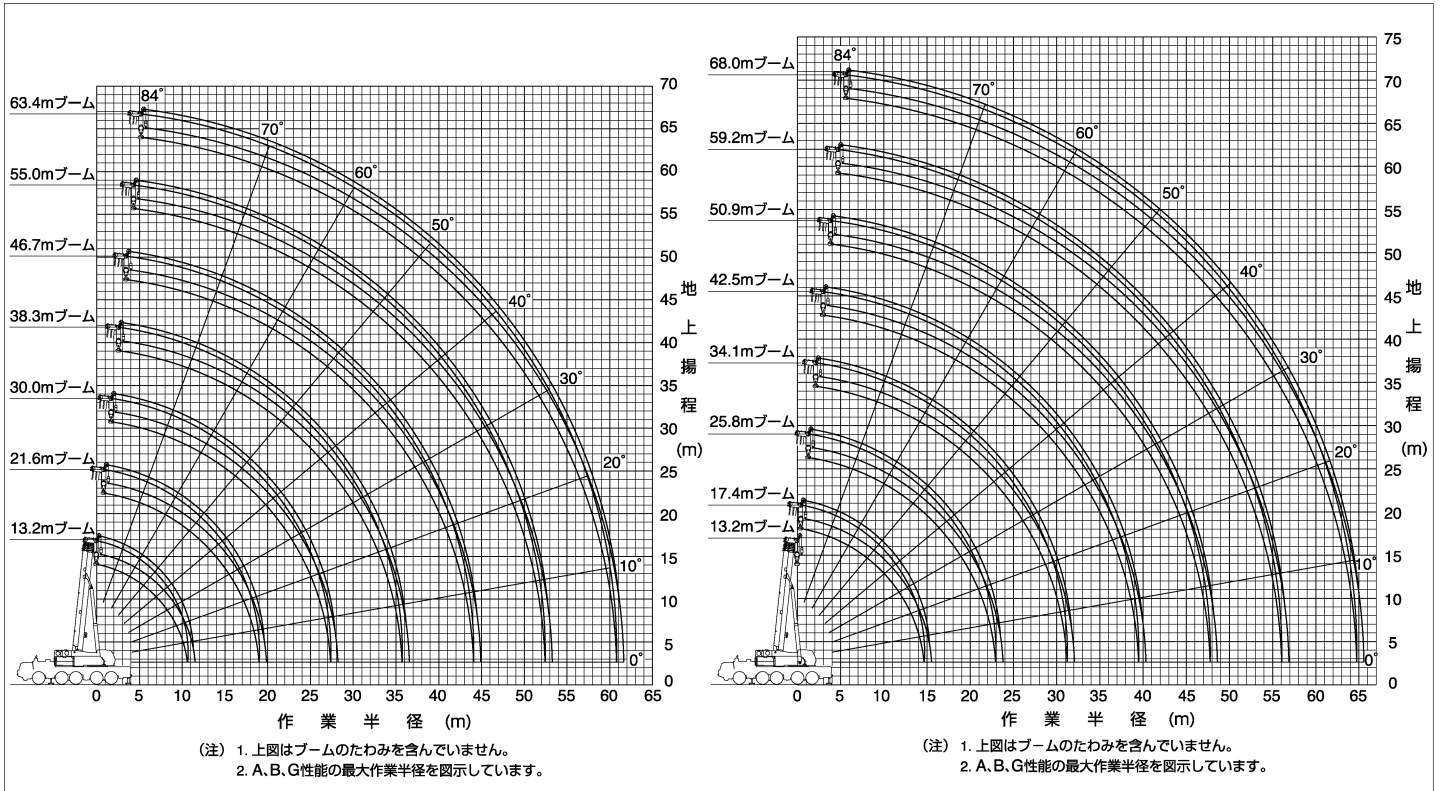


ESPブーム

■ 作業範囲図



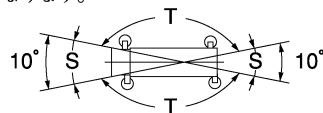
■ 定格総荷重表 (注意事項)

1. 定格総荷重は、アウトリガを水平堅土上に設置したときの値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。
2. 定格総荷重表の性能区分A~Tは、下表のとおりです。

カウンタウエイト アウトリガ張出幅	71 t	47 t	35 t	23.5 t	12 t	0 t
8.3 m	A	B	C	D	E	F
7.0 m	G	H	I	J	K	L
5.6 m			M	N	O	P
4.6 m					Q	R
2.74 m						S, T

※同じ性能区分・ブーム長さでも、ブームの伸長状態によって定格総荷重が異なります。

※S, T性能の作業領域は右図のようになります。



3. 定格総荷重は、つり具質量とフック質量を含んだ値を示します。  
(125tアタッチメントシープ付フック：1,425kg)  
(125tフック：1,350kg)  
(80tフック：1,150kg)  
(25tフック：450kg)  
(7.8tフック：300kg)
4. 定格総荷重は、ブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
5. 各ブーム長さにおける標準フックとワイヤロープ標準巻掛本数は、ブームの各定格総荷重表中最下段に記載しています。  
ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当りの荷重は、主巻7.3t以下、補巻7.8t以下としてください。  
※シングルトップ使用時の巻掛本数は1 (7.8tフック使用) です。
6. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重からブームに取り付けられているフックの質量を差し引いた値とし、かつ限度は7.8tです。
7. 定格総荷重表は、風による影響を含んでいません。  
瞬間最大風速が10m/s以上の風速では、クレーン作業を中止してください。
8. 定格総荷重表中のθは、無負荷時のブーム起伏角度範囲です。

■ 性能ブロック図

